



校報

緑が丘

盛岡市立緑が丘小学校

令和6年3月15日(金)

第7号(文責 高畑嗣人)

学校教育目標

生き生きとしたみどりの子

ホームページの「みどりの子ダイアリー」で、子供の様子をご覧ください。



「探究の学び」で大きく成長したみどりの子!

～「子供を主語」にした教育活動で大きな成果～



15日(金)、修了式を挙行了しました。まずもって、今年度の教育活動にご協力いただきました保護者、地域の皆様に心から感謝申し上げます。

卒業する6年生以外の1年生から5年生が集まった修了式では、1年間の学校生活をしっかりやり遂げたみどりの子の晴れ晴れとした顔が並んでいました。代表の児童に修了証書と祝い品が授与され、進級の喜びとともに次学年への希望を持つ瞬間となりました。

本年度の本校の教育活動は、大きく方向転換をしました。これまでもみどりの子の願いや思いを起点とした授業づくりを大切にしてきましたが、この考え方を学校経営全体に広げて、学校行事、学年、学級経営の基調にして、「子供を主語」にした教育活動を推進してきました。みどりの子一人一人が思いや願いを表出し合い、その実現に向けて自分たちで見通しをもち様々な取組を決めて進めること、やってみたことを振り返り、修正したり新たな取組を見つけたりすること、それを私たちは「探究の学び」と呼び、みどりの子と創ってきました。様々な成果が見られ、これまで以上に生き生きとしたみどりの子の姿が見られました。大きな成果として、次のようなことがあります。

一つ目は、児童会活動の充実です。「笑顔あふれるみどりの子」というスローガンの達成に向けて、児童会執行部を中心に自主的な工夫した活動が見られました。委員会活動も、「させられる」活動から自分たちで考えて「する」活動が増えて、自立的な生活改善にもつながりました。

二つ目は、不登校が減少傾向となりました。特に、新規の不登校児童はありませんでした。一人一人の思いや願いを起点とする個別最適学びの実現により、学校生活への楽しさ、やりがいを感じて学校に足が向いているようです。

三つ目は、子供たちの考える力が伸びました。学校生活すべてにわたって、考える機会が増え、授業の中でも、考える力を活用・発揮し、進んで自分の考えを発表し、考えを交流し「納得解」を見出そうする姿が増えました。

今年度の成果を来年度にしっかりとつなぎ、令和7年度に予定されている学校公開研究会では「探究の学び」で高まったみどりの子の素晴らしい姿を、県内以外の先生方にお見せできるよう教職員一丸となって「探究型の学校」創りを進めてまいります。